HYPER WATER Racing INGING

SUPER GT 2026 SERIES RACE REPORT Rd.8

第８戦（最終戦）

MOTEGI GT 250km RACE
GRAND FINAL
モビリティリゾートもてぎ

予選
決勝

11月8日(日)

天候：晴れ　コース状況：ドライ

2026年のSUPER GTシリーズ最終戦は、11月8日に予選と決勝が行われる。最終戦ということでサクセスウェイトはなくなり、車両が本来持つ性能でのガチンコバトルとなる。レース距離は前日と同じ250km。土曜日の第3戦の結果、HYPER WATER INGING GR86 GTのドライバーランキングはポイントリーダーと18点差の4位。逆転タイトル獲得の可能性も残している。天気は朝こそ冷えたが晴天に恵まれ、早朝から詰めかけた3万3,000人のファンが見守る中、今季最後のレースを迎えた。

予選：13位　決勝：8位





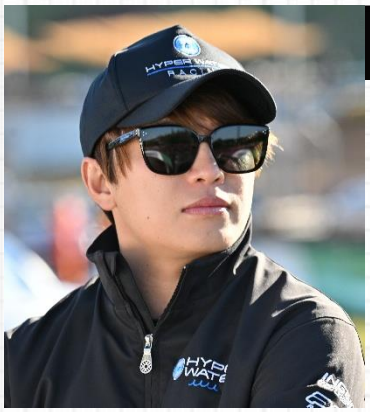
公式予選は晴れ／ドライ、気温15℃、路面温度20℃の9時45分にスタートした。前日の第3戦同様、GT300全車が20分間のセッションでコースインし、ドライバーもひとりでアタックをする形となる。20分間のセッションが10分を経過するころ、この日も堤優威がコースイン。徐々にタイヤを暖め5周目にサクセスウェイトを搭載していた前日のタイムをほぼ1秒上回る1分45秒983のベストタイムをマークし、トップとは0.901秒差の13位につけた。「ウェイトもなくなり、それなりの速さもありましたし満足のいく予選でした。V字コーナーで縁石にちょっと引っ掛けてしまいコンマ1秒ほどロスしてしまいましたが、それがなくてもほとんど順位は変わらなかったと思うので、このタイムであればハッピーです。決勝は今日もタイヤ無交換で8位ぐらいが目標です」と堤は控え目だった。

決勝レースは前日同様、晴れ／ドライ路面で気温17℃、路面温度23℃というコンディションの14時に栃木県警の白バイ5台、パトカー5台の先導でパレードラップがスタートした。さらにフォーメーションラップへ続き14時7分にスタートが切られた。ステアリングを握った卜部和久は3コーナーまでに1台、さらにS字コーナーで1台をかわし11位へ順位を上げ、さらに上位を狙ったが、後続車両がS字コーナーでコースオフしたことでいきなりセーフティカー(SC)導入となった。

8分後、4周完了でSCランが終了しバトルが再開。9周目にはオープニングラップで抜いた車両に抜き返され12位に順位を落とした。卜部はレースの1/3が経過した16周目に予定どおりピットイン。他にも3台の車両が同じタイミングでピットインした。燃料を補給しタイヤは無交換で卜部から堤に交代する際にネットを挿す作業に手間取り数秒をロス。この間に同時にピットインした車両に先行されることになった。

堤は24位でコースへ戻り、ピットインの際に先行された車両をかわしながら周回を重ね25周目には17位、31周目には12位へ順位を挽回した。さらに34周目には10位争いのグループに加わり43周目には11位、44周目には10位へ順位を上げていった。さらに終盤の46周目には上位の車両がペナルティを消化するためにピットインしたことでシングルの9位となり、50周でチェッカーを受けた。

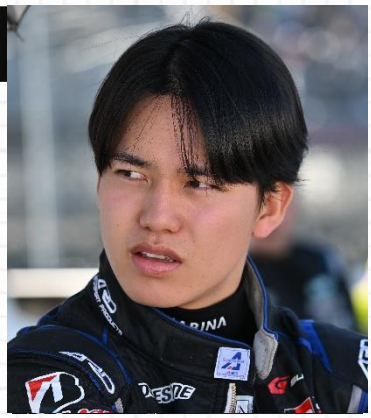
レース後に8位の車両にペナルティで10秒が加算されたことで、順位は繰り上がり8位となった。
この結果シリーズポイントは8点を加算し、5位の車両と同ポイントのシリーズ6位で2026年シーズンを終えた。



ドライバー　堤　優威

「サクセスウェイトがなく軽くなったことで僕たちの強みが出せました。ピットのミスがなければ5位ぐらいまで行けたかもしれませんが、もてぎの厳しいレースでシングルは良く頑張ったと思います。タイヤも良かったしペースも速かったです。素晴らしいブリヂストンタイヤと組むことができた5年間は有意義でした。一年間通して優勝はできませんでしたが、速さをアピールできたこともありました。皆さん一年間ありがとうございました。来年もまた応援をよろしくお願いします」

ドライバー　ト部 和久



「いいスタートが切れて1～3コーナーとS字で2台抜くことができましたが、すぐにSC導入となり序盤にもっと抜くチャンスがなくなったのは残念でした。ピットでは3つぐらいのことが同時に起きてミスをしてチームに迷惑をかけてしまいました。今年一年チームは僕を成長できる環境にしてくれました。タイヤコンペティションのある最後の一年に参戦することもできました。本当に感謝しています。岡山とオートポリスでは地元の山口のファン、この最終戦にも多くのファンに応援をいただきありがとうございました」



監督　加藤 寛規

「スタートから良かったと思います。今日は順位の変動もありチャンスがあるかなと思っていたのですが、ウェイトを外すと性能が均衡してトレイン状態になってしまったので、抜くのが非常に難しかったです。ピットではミスが出て5秒ぐらいロスしました。それで順位が落ちて抜き返すのに時間がかかりました。苦手なもてぎのレースでよく頑張って良い戦いができたと思います。ブリヂストンのサポートには感謝しています。
そして一年間応援していただいたファンの皆さまありがとうございました」



